

確認をお願いいたします



《下記に該当する方は、当日の献血をご遠慮いただいております》

予防接種を受けた方

- ・インフルエンザ、破傷風、日本脳炎、A型肝炎、
狂犬病、子宮頸がん、肺炎球菌、带状疱疹など・・・・・・接種後 24時間以内
- ・ツベルクリン反応・・・・・・・・・・接種後 48時間以内
- ・B型肝炎・・・・・・・・・・接種後 2週間以内
- ・おたふくかぜ、麻疹・風疹、BCGなど・・・・・・接種後 4週間以内
- ・天然痘ワクチン・・・・・・・・・・接種後 2ヶ月間以内



海外渡航や海外滞在(居住)していた方

- ・海外から帰国後(入国後)4週間以内の方・・・・・・感染リスクを軽減するため、献血をご遠慮いただいております。
- ・マラリア流行地域や牛海綿状脳症(BSE)の
発生している欧州諸国に滞在されたことのある方・・・・・・地域、滞在期間等によって献血をご遠慮いただいております。(都市部・観光地以外の滞在や、1ヶ月以上の滞在の場合、該当することがあります)



他にも血液を介して感染する原虫症発生地域への既往がある場合も制限がございます。
詳しくは、血液センタースタッフまでお問い合わせください。

他にも・・・

- ・3日以内に出血を伴う歯科治療を受けた方・・・・・・口腔内常在菌が血中に移行し菌血症になる可能性があるため、出血を伴う歯科治療(歯石除去を含む)を行った場合は、治療後3日間をご遠慮いただいております。
- ・今までに輸血や臓器移植を受けた方・・・・・・現在の検査法では検出できない未知のウイルス感染が考えられるため、ご遠慮いただいております。ただし、現在何らかのウイルスに感染しているという訳ではございません。
- ・1ヵ月以内にピアスの穴をあけた方・・・・・・細菌等の感染の危険性があるため、穴をあけてから1ヶ月間をご遠慮いただいております。

《下記に該当する方は、内容を職員がお聞きいたします》

治療中の病気や服薬がある方

- ・既往歴や治療中の病気がある方・・・・・・献血いただける方の安全性を判断するために詳細をお聞きいたします。
- ・3日以内に薬を服用、使用した方・・・・・・献血いただける方の健康状態の確認と、血液への薬物の残存の影響を確認するために詳細をお聞きいたします。当日は、薬剤名がわかるようにお薬手帳をお持ちいただくなどしてご来場ください。なお、服薬基準改定により、当日服用していても、献血が可能なものが多くあります。



献血いただける方の健康を守るため、また、輸血を受ける患者さんのために、この他にも様々な基準を設けております。献血当日に問診等により検診医が総合的に判断し、献血をお願いしております。ご理解、ご協力をお願いいたします。

問い合わせ 埼玉県赤十字血液センター 献血推進課 048-720-8009